

第3回「防府市参画及び協働の推進に関する協議会」会議録概要

開催日時 令和元年12月16日(月)午後6時30分～8時30分
会 場 防府市役所4号館3階 第1会議室
出席委員 10人(欠席:0人)
傍聴人 1人
概 要 (発言要旨の文章表現は、簡略化しています。)

◎協議事項

①令和元年度 防府市参画及び協働の推進に関する意見書(案)について

○事務局

定刻になりましたので、防府市参画及び協働の推進に関する協議会の第3回会議を開催します。

始めに、資料の確認をお願いします。本日の資料としまして、会議次第、意見書の案を事前送付しております。

- ・防府市参画及び協働の推進に関する条例施行規則第6条第2項の規定により本協議会成立を報告。
- ・防府市参画及び協働の推進に関する条例第14条に基づき協議会を公開する旨を確認。

○委員長

本年度の本協議会も本日で3回目ということですが、昨年度から引き続き2年間で最後ということですので、これまでご協議いただいた内容を踏まえた意見書案について、委員の皆様からご意見を頂ければと思います。

それでは、意見書の内容について事務局から説明をお願いします。

○事務局

先に、前回ご質問のありました事項について回答させていただきます。

E委員から、防府市以外で協働推進員を配置している自治体はどの程度あるのでしょうか、というご質問をいただきました。あくまで事務局で調べた結果であり、ホームページで公開していない場合や名称が異なるが担う役割が同様であるといったケースがありますが、県内では、岩国市が市民協働推進員を平成27年度から配置しており、県外で6市ほどは同様の役割を担う担当を置いている自治体があります。

それでは、引き続き意見書案についてご説明します。

※「意見書案(1. はじめに、2. 参画の推進に関する事項)」について説明。

○委員長

後ほど協働の推進に関する事項の説明もございますが、ここまでの内容で委員の皆様からご質問等をよろしくをお願いします。

○F委員

2ページ目の「(1) 参画の実施状況全般について」の下から3行目の文について、誰に対してといたしますか、真意はどのあたりにあるのでしょうか。

○事務局

委員の方のご意見をまとめたものですので、細かなニュアンスまでは分かりませんが、議事録の趣旨から申し上げますと、子供が考えると親も考えるため投げかけをしてみてはどうか、という趣旨であり、パブリックコメントに関する協議の中で出たご意見です。企業に関する部分については、女性委員の参加が少ないことに関する協議の中で、まず地元企業に知っていただいて、企業の方から「こういう協議会があるので出てみてはどうか」という働きかけをしていただける形になれば良いのではないかと、というご意見が出ましたのでこの様な記載としております。

○F委員

今現在、市内企業に働きかけをしているということでしょうか。

○事務局

今現在しているということではなく、今後企業においてその様な働きかけをしてもらえるようになれば女性委員の参加が増えるのではないかと、という趣旨のご意見だったと思います。

○委員長

この部分については、このままの文面であれば趣旨が伝わりにくいでしょうか。

○F委員

具体的に記載した方が良いのではないかと思います。

○委員長

例えば「何々のために」「何々を目的として」という文言で、具体例を書き加える形にしたいと思いますが、事務局で対応していただけますでしょうか。

○事務局

記載内容については検討させていただきます。

○A委員

1ページ目の「1. はじめに」の第3段落の最後が「行われました。」という締めくくり方になっていますが、「行われました。」という言い方だと第三人称のような感じになるので、自分達が行ったことですので「行いました。」という記載の仕方が良いのではないかと思います。

また、第5段落の「希望します。」という締めくくり方ですが、希望だと少し弱い表現だと思いますので、「望みます。」や「要請します。」などもう少し強い言葉を使用した方が良いのではないかと思います。

さらに、3ページ目の上から3行目「計画等により柔軟に・・・」のところですが、「より」が「計画等

により」なのか「より柔軟に」なのか、どちらに掛かるのか分かりにくいと思います。「より柔軟に」の場合は、「計画等に」の後に「、」をつけた方が良いと思いますがいかがでしょうか。

○委員長

計画等に基づいてという意味ではなく、より柔軟に反映させるためにはという趣旨だと思いますので、「、」を入れる方が適切だと思います。

1 ページ目の第3段落については、「行われました。」に変更したいと思います。第5段落の「希望します。」という締めくくり方ですが、前回の意見書は「希望します。」との締めくくり方になっておりますが、いかがでしょうか。事務局としては、特に使ってはいけない文言などはございますか。

○事務局

特にありません。

○委員長

「要請します。」にしたいと思いますが、違和感のある方はいらっしゃいますか。

○C委員

「要請」は少し強い感じを受けたが、どの程度の強さが良いのか難しいところだと思います。

○委員長

この部分については、我々がどのようにしたいかによるところだと思います。

○F委員

「防府市におかれましては、」という文言は誰のことを指しているのでしょうか。

○委員長

この場合は防府市を代表している防府市長になります。

○F委員

誰に対してのものなのか対象者が明確でないと分かりにくいと思います。

○事務局

2年前の意見書も「防府市におかれましては」となっているので、今回もこの文言を使用しているのではないのでしょうか。

○委員長

〇〇市と記載されている場合、通常、単に自治体の名称を指す場合と自治体の執行機関を指す場合と両方あります。ここでは執行機関という意味で使用されているように思います。

○A委員

「市当局」とすればまだ分かりやすくなると思います。

○委員長

それでは、1ページ目の6段落目の「防府市」の後に「当局」という文言を、3ページ目の(2)パブリックコメントの2段落目に「、」を追加するということがいけませんか。

○委員長

異議がなければ追加したいと思います。その他何かありますでしょうか。何もないようであれば4ページ目以降の協働の推進に関する事項の説明を事務局からお願いします。

○事務局

4ページ目の「(2)協働事業提案制度について」の第2段落目が「平成30年度」となっておりますが、平成31年4月に行ったものですので変更いたします。

※「意見書案(3.協働の推進に関する事項、4.協議会の概要)」について説明。

○H委員

ここは「平成31年度」ではなくて「令和元年度」になるのでしょうか。

○事務局

「令和元年度」とするのか「平成31年」という書き方にするのか検討させてください。

○H委員

先ほど「希望します」との文言に関して「要請します」に変更するとの議論がありましたが、こちらでは「期待します」との締めくくり方が多いように思います。

○委員長

前回の意見書では「期待します」で統一していますが、何かこのように変更した方が良いとのご意見はありますでしょうか。「期待します」だと人によっては受け止め方に幅があるような気はしますが、先ほどのところと統一して「要請」に合わせるか、少し落として「要望」とするのか、その辺りでいけませんか。

○C委員

「要望」との文言にすると意味合いが変わってくるように思います。協働事業提案制度を活用するのが市民団体の方等であるので、我々から活用するように要望するという意味合いになってしまいますので、どちらかと言えば、我々はこの制度を上手く活用して頂くことに対して期待するとの意味合いが良いのではないのでしょうか。

○委員長

先ほども議論に上がりましたが、ここでも主体が誰になるのかというところにかかってくるのだと思います。協働事業提案制度は市民と行政の協働であり、主体が市民と行政の両方に跨っている事柄ですので、あくまで主体を行政に限定して書くのであれば「要請」でも良いのではないかと思います。市民団体に対して「要請」と記載すると少し強すぎる表現になってしまうのではないかと思います。

○F委員

同じようなことなのですが、4ページ目の見出しのところに出てくるが、「市民等の視点から・・・」というところ、市民等とは誰を指すのでしょうか。

○事務局

こちらは委員の皆様のことを指します。

○委員長

おそらくここでは市民の代表として我々のことを指すのだと思います。ここで「市民等」となっているのは、我々個人ではなく、市民を代表している我々という意味だと思います。

○F委員

実際に協働事業提案制度の応募対象は委員だけではなく市民全体だと思うのですが。

○委員長

「市民等」というのは、大きく分けて市民の他に主体となるのは、市、企業ということになるのだと思いますが、「市民等の視点」というのは、行政の視点ではないということが想定されるのですが、行政目線だけではないということが強調されているのだと思います。

「市民等」というのは具体的には何を指すのでしょうか。

○事務局

一般的には市内に在住、在勤、在学の方を指すものと考えます。

○F委員

「議論を行いました。」となっていますが、ここでは幅広く市民等を集めて議論を行ったという解釈になるのでしょうか。

○事務局

1ページ目に委員長をはじめ委員の皆様のお名前がありますが、「市民等」には委員の皆様も含んでいるという解釈になります。「議論を行いました。」というのが、当協議会におけるこの会議のことを指します。

○委員長

視点といいますか、見方の問題なのですが、市民全員が参加していなくても、我々が市民全員の立場・

見方をしながら意見交換をしているということになります

○F委員

正確に言うと当協議会の委員のことを指すということでしょうか。

○事務局

限定するとそうなりますが、委員の皆様には各々の立場としてご出席いただいている方もいらっしゃいますが、もちろん公募委員の方は市民の中から選ばれているわけですので、そういう意味で「市民等」に含まれていると解釈できます。

○A委員

この「市民等」とは当協議会の委員に限定した意味ではなく、市民等の立場から協働に関する議論をしたという意味で使われていると解釈したのですが、それでよろしいでしょうか。

○事務局

お見込みのとおりです。

○委員長

ここでは「市民等」の具体性より、視点の方に重点が置かれており、市民目線で議論しているというところを強調したいということであり、つまりは我々が市民目線を代表して議論をしてきたということです。

○F委員

その方が分かりやすいと思います。「議論を行いました。」との文言だと、一般の市民の方々が議論をしたように捉えられるのではないのでしょうか。

○C委員

当協議会の公募委員になるのは市民でなければならないのでしょうか。

○事務局

市内に在住、在勤、在学であれば可能です。

○C委員

今回、当協議会の委員に在勤の方がたまたまいらっしゃらないですが、例えば、公募委員で応募された方が市内在勤で市外に住まっていた場合でも「市民等」に該当するので、議論に加わっても構わないということだと思います。

○委員長

言葉としては、「市民等」が一番すっきりとした表現だと思いますが、イメージしづらいようであれば、

これに代えて今のような「市内在住、在勤はじめ市に関わりのある方の視点・・・」などのような記載にするかどうかではないでしょうか。

○F委員

その方が分かりやすいと思います。

○委員長

それでは、この部分に関しては事務局で言葉をつけ足して頂きたいと思います。

○委員長

私から一つ、文言の細かなところですが、4ページ目の「(2) 協働事業提案制度について」の第3段落目の「提案団体の意欲を引き出ししたり、・・・」の部分ですが、これだと提案団体に意欲がないかのような印象を受けますので、「意欲を高めたり、・・・」等に変更した方が良いのではないかと思います。

先ほど話に上がった「期待します」の文言について結論が出ていなかったように思いますが、ここでは市民団体のことも絡んできますので、このままの文言でもよろしいでしょうか。

○E委員

このままでも良いと思います。

○G委員

協働事業提案制度はまだ試行錯誤で進んでいる制度ですので、ここは強い表現を使わない方が良いと思います。

○E委員

3ページ目の「(3) 審議会等」のところでは、「適正な運用を行ってください。」となっていますが、審議会はそのような性質の制度ですので、性質に合わせた文言が良いと思います。

協働事業提案制度については活用される取り組みを期待する、という意味を込めてこのままで良いと思います。

4ページ目の「(3) 協働推進員」の下から2番目の「協働推進員同士による意見交換などにより・・・」のところですが、「協働推進員相互の情報交換及び連絡調整を図り・・・」に変更してはどうでしょうか。

○委員長

「同士」を「相互」に、「意見交換」を「情報交換及び連絡調整」に修正するということですが、「連絡調整」の文言を入れることによって、連絡や調整をする役割も担うという意味が追加されますが、いかがでしょうか。

○F委員

「連絡調整」も良いですが、「制度の充実を図る」などの記載も良いのではないのでしょうか。

○委員長

協働推進員が制度の充実を図るという機能を持つのは防府市の制度としては可能でしょうか。

○事務局

協働という制度の充実という意味でしょうか。それとも協働事業提案制度のお話になるのでしょうか。

○委員長

協働の仕組み全般のことだと思います。

○F委員

まだ協働が広く一般に浸透していないことから、誰が浸透させるのかということ考えた時に、協働推進員にその役割を担ってもらうのも良いのではないのでしょうか。

○委員長

市職員が協働推進員ということよりは一般市民を含めての話ということで、それをもう少し分かるようにした方が良いのではないのでしょうか。

○F委員

その通りです。

○委員長

先ほどE委員から出た連絡調整に関して、その連絡調整の相手というのは誰を想定していらっしゃるのでしょうか。

○E委員

協働推進員間の相互での連絡調整を想定しています。

○委員長

E委員のお話は、協働推進員は拡大してその機能を担ってもいいのではないか、ある意味では、現在の協働推進員そのものが市民活動推進課の指示に従って動くだけではなく、協働推進員自身が自分の役割として行政内部での連絡調整のみならず、市民に対してそういう気持ちで接するという趣旨のことを入れてもいいのではないか、ということでしょうか。

○A委員

前半の部分では「市職員の協働に対する意識の向上が進むと考えます。」とありますが、次に「設置の目的が達せられること・・・」となっており、2つで違うことを言っているように思われます。私の認識では、ここでは協働推進員の資質・意識の向上のことだけでいいのだと思っていたが、設置の目的というところにまで話が及ぶと、「今後も」ではなく「また」などの文言でなければ、意識の向上がそのまま

続いて今後も意識の向上に努めるべきとの趣旨に読んでしまうが、いかがでしょうか。

常に協働推進員の資質の向上に努めれば自ずと充実してくることですので、「また」であれば「連絡調整」との文言は不要ではないかと思えます。

仮に資質の向上と設置の目的の両方を入れるのであれば、「今後も」ではなくて言葉を変えてつなげるべきではないかと思えます。

○F 委員

前半に「協働推進員の配置は・・・」との記載があるが、これと関連しているとするこの辺りのことはそのようにしたら良いでしょうか。

○委員長

「協働推進員の配置は・・・」のところですが、市の協働の方法の一つとして協働推進員の配置があるので、そういう意味では協働推進員の意識向上をして終わっては途中と言えは途中であるので、そう考えると、まずは意識向上が必要だが、それを踏まえてさらに設置の目的が達成されるというのが重要だということになろうかと思えます。

○I 委員

協働推進員は、例えば、提案団体になりそうな場合は、その団体は協働推進員に相談していいですよ等、役割を持っていますということを市民向けにどこかで説明しているのでしょうか。私は市内部で役割を持った方という理解をしていましたが、市民に対しての位置付けのようなものはありますか。

○事務局

市民の方に向けて協働推進員の存在について特別に周知を図ってはいませんが、各協働推進員には、協働に関する相談があった場合には最初に協働推進員が窓口となって相談を受けていただきます。協働推進員が担当している業務と相談内容が必ずしも一致するわけではありませんので、あくまで第一の窓口として、必要に応じて他部署等につなぐ役割を担っていただく等をお願いしております。

○I 委員

ここの設置の目的というのは、市職員が協働に対してさらに理解を深めることを進めていく内部の啓発という役割という意味合いでしょうか。

○事務局

お見込みのとおりです。

○I 委員

意見書は市ホームページに掲載するなど市民の方の目に触れるところに出されると思いますが、前回の意見書には協働推進員に関する記載はありましたでしょうか。

○委員長

前回の意見書には記載が無かったと思います。

○ I 委員

市の新しい制度ということになると思いますが、市民の方の目に触れるのであれば、初めてですので、協働推進員に関する説明の記載があった方が良いのではないかと思います。

○委員長

先ほど前回の意見書には記載が無かったと申し上げましたが、今見返したところ平成29年度の意見書案には、「1. 協働の推進に関する取組状況の全般について」のところで「平成28年度に各所属に1名以上の協働推進員を配置し・・・」との記載があります。

○ I 委員

それであれば過去の意見書で確認が可能ですので、記載の必要はないと思います。

○委員長

協働推進員に役割や機能の範囲はどのくらいなのかというところで、協働推進員の方から一般市民に対しての働きかけは範囲内であるのですが、今は要望・相談があったときに対応するという、やや受け身的なところがあるというイメージだと思います

○事務局

それに合わせて、それぞれの所属の業務に関して、他市の事例を参考に協働でさらに解決できるのではないかと検討していただく役割も担っています。

○委員長

それが協働意識と予算獲得の部分であると思います。その際、他市の事例を見て協働相手に特段働きかけをせずに予算を計上するというのが良いのかどうかということになると思いますが、何らかの形で市民に対するアプローチがあった方が良いのかもしれませんが、しっかりとやろうと思えばこのあたりの役割も入ってくるのではないかと思います。

○ I 委員

そのような役割があるということを委員の皆様にご認識いただいた上で、E委員とF委員から出た文言の修正についてさらにご議論いただくのが良いと思いますが、いかがでしょうか。

○ F 委員

協働推進員相互間の意見交換・連絡調整というのは、当然されていると解して良いでしょうか。

○事務局

集まったの会議等は行っています。

○F委員

それをさらに密にするというような方向性の文言が良いと思います。

○I委員

それをさらに進めるという表現はどうでしょうか。

○委員長

先ほどE委員からありますが、具体的に情報交換や連絡調整という文言にしてはどうでしょうか。意見交換は表現として少し弱いように思います。意見交換の先にどうするのかという視点が欠けているように思います。

○F委員

協働事業の提案が出されれば、担当部署の協働推進員のところに話が行くと思いますが、提案内容が市役所内部の一部署なのか、複数部署の跨るのかというところで情報交換や内容確認につながるころだと思いましたが、協働推進員はそのような役割を持っているということだと思います。

○事務局

複数部署に跨るような場合は、どこがメインで動くのかという調整は必要であると思っています。

○F委員

「担当の協働推進員が中心となって意見交換あるいは連絡調整・・・」というようにした方が分かりやすいと思いますが、いかがでしょうか。そうすれば主語がはっきりしてくると思いますので明確になると思います。

○委員長

「中心となって」ということは協働推進員だけではないということになりますが、その点は大丈夫ということでしょうか。

○A委員

ここは文章を切らずに続けてはどうでしょうか。文章を区切るのであれば、意識の向上が先に図られているということであるので、「今後も・・・」の部分は「加えて」に変更してはどうでしょうか。

○委員長

確かに「意識向上が進むと考えます。」との記載は、必ずそうなることが前提となっている意味になると思います。

○B委員

協働事業提案制度の第3段落で「併せて、提案団体と事業担当課が協議の時間を持ち・・・」とありますが、事業担当課の中には協働推進員がいるので、ここに協働推進員が関わっているということが分

かる文言を入れておけば、協働推進員が協働事業提案制度にも関わっているというのが分かると思います。まずは協働推進員の方に相談して、協働して良いという事案であれば協働事業提案制度の提案につなげていくというような役割があるのではないかと思います。

○C委員

それはアプローチの仕方の違いであるように思います。協働事業提案制度はあくまで市民から協働ができないかというような提案があった場合に協働の事案になるのに対して、協働推進員の場合は、協働事業になるという意識がない相談事案が出てきた場合に、これは協働にもっていけるのではないかと、というような部署で、あるいは自分の部署内で連携して協働につなげていくという役割があるというような意味合いなので、あえて協働事業提案制度と協働推進員の記載を分けているのだと思います。

○G委員

ここで言う事業担当課の事業担当を協働推進員の方が行っていたら非常に忙しくなるので、例えば私の提案した事業の事業担当課は生涯学習課だったのですが、その担当課の中で大変コアな部分でしたので、協働推進員の方が業務の全てを把握しているわけではないので、テーマに特化した得意な方が携わる方が良いと思っています。

○B委員

事業を進めていくのは事業担当課だと思いますが、ここではきっかけをどうするかということだと思います。恐らく一般市民の方は協働についてピンときていないと思います。

○F委員

私のイメージでは、提案内容によってどの担当課が適当かを窓口で最初に判断するところが市民活動推進課ですから、ここから各担当課に働きかけていくところですが、ただ働きかけを受けた担当課でも事業全部を実施できない場合は、ここが主たる担当課として役割によって他部署に働きかけるということではないでしょうか。

○C委員

協働は普段馴染みがないことですので、どこにどう相談したら良いのかというような時に協働推進員の役割が必要になってくるのだと思います。

○F委員

協働推進員が色々な部署にいますが、一人で全ての事業を受けるわけではないので、色々な協働推進員の中から主たる担当を決めて働きかけをするというようなことだと思います。

○A委員

協働事業提案制度は、市から課題の投げかけによって行う事業と提案団体からの提案によって行う事業との2パターンあり、その中で協働推進員は、所属する課で協働事業として出来る事を掘り起こすことが大きな役割を占めているという趣旨のことがここに記載されていると思いますが、その両方の立場

をクリアするためには、協働推進員の資質の向上を図ることが結果的に協働推進員や協働事業提案制度の熟度を高めるといような記載にしてはいかがでしょうか。

○I 委員

熟度を高めるとい部分先ほど話に出た相互の情報交換に込めるといようなことになるのだと思ひます。「今後も・・・」の後に「さらに」や「加えて」を付け加えると良いのではないでしようか。その想ひ、期待をしたいとい部分を「協働推進員が中心となつて相互の情報交換及び連絡調整などにより・・・」とい文言で良いかどうかご意見を頂きたいと思ひます。

○F 委員

「その上さらに」との文言を付け加えるのはどうでしようか。

○委員長

それでは2つの文章は残す形にして、協働推進員の後は、個人的には意見交換だけでは弱いと思ひますので、情報交換及び意見調整とした方が良くと思ひます。

先ほどの参画のところも含め他に何かあればご意見を願ひします。

○事務局

事務局から1点ござひます。1ページ目の「はじめに」のところを下から3行目ですが、「防府市に・・・」を「防府市当局に・・・」に変更する旨のご意見を頂いてお思ひますが、参考までに、参画及び協働に関する協議会の所掌事務といのが条例施行規則に定められておひまして、その中で「協議会は参画及び協働に関することについて市長に意見を述べるこができる」となつておひますので、ここは「市長」とい記載でも良くと思ひますがいかでしようか。

○委員長

確かにそのような記載の方がすっきりすると思ひますので、「防府市に・・・」を「防府市長に・・・」との記載にしたいと思ひますがいかでしようか。

○G 委員

4ページ目の「(2)協働事業提案制度」のところ、前回の会議の内容ですが、早速中間報告に関するこを入れていただきありがとうございます。現在進行中の取り組みについて、市民の方に取り組みの様子を写真を含めて掲示をしていただくこで、より多くの市民の方の目に触れるこができ、事業提案の件数も上がつてくると思ひますし、市民の意識も高まるのではないかと思ひます。

○委員長

今のご意見は「(2)協働事業提案制度について」の2段落目における中間報告のこについてですが、現在の文言について修正等のご意見はありますでしようか。

○G 委員

文言についての修正は特段ありません。

○委員長

「繋がると考えます。」で終わっているが、この文章を「活動への理解や市民からの応援に繋がることを期待して」等にして、「取り組みをより積極的に紹介することを期待します」等の締めくくる、要するに主語が紹介するということで終わるのが良いと思いますので、「活動への理解や市民からの応援に繋がる」というのは目的、狙いですのでこれを前にもってきて、最後に「より積極的に紹介することを期待します」というような流れの文章が良いと思います。あるいは「活動への理解や市民からの応援に繋がる」というのを「初めての事業報告会が開催されましたが」の後に入れても良いかもしれません。

○E委員

「ホームページでも」ではなくて「ホームページに」とした方が良いと思います。

○委員長

「ホームページで」とするのはどうでしょうか。よろしいでしょうか。

○委員長

その他いかがでしょうか。その他事務局の方からも何かございますか。

○事務局

事務局からは特にございません。

○委員長

それでは、今後のスケジュールについてはどうなるのでしょうか。

○事務局

本日頂いたご意見をもとに修正したものを委員の皆様へ郵送して最終確認をしていただくこととなります。その際に追加で修正等のご意見がございましたら、修正をするか否かの判断は委員長と副委員長との協議により決定させていただきたいと考えておりますが皆様よろしいでしょうか。

意見書の提出については、前回と同様に、本協議会から事務局である市民活動推進課にご提出いただき、市民活動推進課から市長に報告するといった形を取らせて頂きたいと考えておりますが、ご了承いただけますでしょうか。

○委員長

意見書の提出はどのタイミングになりそうでしょうか。

○事務局

これから本日の意見を元に委員長及び副委員長と協議のうえ意見書を修正させていただき、委員の皆様へ郵送させていただきます。少し確認のお時間をいただき最終決定したものを提出するというように

なりますので、2月初旬には形にしたいと考えております。

○委員長

本日のご意見を踏まえた意見書については、改めて委員の皆様にご確認いただき、事務局、委員長及び副委員長が調整いたします。

それでは以上で防府市参画及び協働の推進に関する協議会の第3回を終了します。皆様ありがとうございました。

○事務局

それでは、今回が最後の会議となりますので、委員長からご挨拶をお願いします。

○委員長

平成30年7月から今回の協議会の会議が始まったわけですが、協働事業提案制度についても実際の実施を踏まえての意見交換が出来たということで、平成28年、平成29年と比べてみても協議する題材が色々ある中で協議が行われ委員の皆様には大変感謝申し上げます。

簡単に進むものではないですが、少しずつでも前に進んでいると委員の皆様にも感じて頂いていることと思いますので、この歩みを止めることなく進めていきたいと思っておりますので、今後も皆様のご協力を頂けたらと思います。

以上をもちまして、この協議会を終了とさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

○事務局

続いて、事務局からご挨拶申し上げます。

○事務局

本日は、年末のお忙しいなかお集まりいただきありがとうございました。委員長をはじめ委員の皆様には、この2年間真摯にご協議頂き本当にありがとうございました。

この2年間の皆様の熱い気持ち、熱い想いを我々市職員としましては、最大限に前向きに考えていきたいと思っております。ただ、急激に進めていこうとすると無理な部分もあると思っておりますので、一歩ずつ進んでいけるよう、とにかく一生懸命に皆様を引っ張っていけるよう、頑張っていけるようにしたいと思います。本日はありがとうございました。

○事務局

委員の皆様におかれましては、大変お疲れ様でした。本市の参画及び協働に関する取組に関しましては、今後ご注目いただきご意見等ございましたら、いつでも市民活動推進課に頂ければと思います。

4月には協働事業提案制度の説明会及び報告会を行う予定ですので、日程が決まり次第、市広報等においてお知らせいたしますので、お越しいただければと思います。

この度の会議録につきましては、個人情報に触れない範囲内で市ホームページに掲載いたします。